補修・防食対策ガイドブック発刊へ

日防協　設計・調査・施工のポイント紹介

日本コンクリート防食協会は4日、「上水道・下水道・農業集落排水施設等のコンクリート構造物等に関する補修・防食対策ガイドブック」（補修・防食対策ガイドブック）を9月15～20日ごろに発刊すると発表した。

ガイドブックは、上水道・下水道・農業集落排水等施設で使用されるコンクリート構造物の補修・補強・防食に関する情報を、発注者・設計者・請負者に提供することを目的としている。

具体的には、▽ガイドブックの利用にあたって▽掲載材料・工法（工法名、団体名・会社名）一覧▽掲載材料・工法の説明シート▽参考資料―で構成。

材料・工法は、大分類として①調査・診断全般②防食被覆工法③防水材料・工法④断面修復材料・工法⑤補強筋・補充筋材料・工法⑥びび割れ処理材料・工法⑦端部処理・シーリング材料⑧その他―の8項目に整理し、用途別に中分類、施工方法を小分類とした。

また、説明シートでは、「工法・材料の特徴」「要求性のへの適応性」「各種施設の適用条件」「概算工事費」「施工工程」「施工実績」など、設計・調査・施工におけるポイントや注意点、施設の維持管理に役立つ情報などを掲載した。

掲載社・団体数は40社、掲載件数132件となる。

ガイドブックの注文開始日は9月15日からで、申し込みは同協会ホームページに掲載している注文書から受け付ける。価格は1冊5500円（消費税・送料込）だが、官公庁は1事業所1冊に限り無償配布する。

現在、施設の老朽化や環境変化による劣化や自然災害による損傷など、様々な問題が発生しており、施設の補修・補強、コンクリート防食は、施設の長期的な耐久性を維持するために不可欠なものとなっている。近年、コンクリートの補修・補強、防食技術は急速に進歩しており様々な工法が開発されているが、発注者や設計者などに、その情報が充分に浸透していないことから、同協会では2021年度からガイドブックの検討・準備をしていた。

材料・工法132件を掲載したガイドブック

水道産業新聞　2023年(令和5年)9月11日発刊　8面